

2023年3月21日(祝) 10:00-11:00

玉川学園シンポジウム 新学習指導要領のもとでの英語教育 – 縦横の連携と教員養成



小田 眞幸 (玉川学園・大学 高等教育理事)

全体総括

玉川学園・大学では、幼稚部から大学院生までがひとつのキャンパスに集う。まずは、玉川の丘での K-16(幼稚部から大学)の英語教育を俯瞰する。また、シンポジストの講演、討論、そして、フロアとの質疑応答を踏まえ、最後に新学習指導要領のもとでの今後の英語教育の展開を示唆する。



前田 則文 (玉川学園 Secondary Division 英語科主任)

新学習指導要領と小・中・高連携

新学習指導要領により小学校から始まることとなった英語教育であるが、児童・生徒の発達段階を踏まえて、小・中・高等学校においてどのような授業を展開していけばよいか、大学の英語教育につなげるためのゴールは何なのか、また、デジタル教科書の普及や PC の活用などにより、今後どのように授業が変化していくのか、評価法はどのように変化していくのか、について皆さんと考えていきたい。



黒嶋 智美 (玉川大学 ELF センター 准教授)

高大連携と大学全体での連携

共通語としての英語(ELF)を理念に教育活動を行なう玉川大学 ELF センターにおける、日常的教育実践、および高大連携の取り組みと学部との連携について紹介する。ELF プログラムは 4 技能を統合的に修練し、批判的思考や学術的知識の習得を、英語を使いこなす実践を通して行なうことを学修目標に掲げているが、実践を通して浮上した課題についてどのように対処しているのか、具体的な事例を交えて議論したい。



森本 俊 (玉川大学 文学部英語教育学科 准教授)

新学習指導要領と教員養成

新学習指導要領の実施に伴う大学での英語教員養成の現状と課題を、2022 年度玉川大学文学部英語教育学科 4 年生を対象とした教育実習アンケートの結果を通して報告・議論する。具体的には、授業での言語使用や ICT の利活用の実態、学生が課題と感じる知識及び指導技術といった内容を取り上げる。これからの時代の英語教員養成の方向性について、皆さんと活発な議論を行いたい。